

会議議事録

会議名 第1回学校関係者評価委員会	
開催日時 平成30年11月28日 水曜日 午後4時00分～午後5時00分	
会場 学校法人 美専学園 北海道芸術デザイン専門学校 1階 会議室	
委員等	司法書士 山森鉄夫事務所 所長 山森 鉄夫 (当日欠席)
	株式会社 アトリエ・K 一級建築士事務所 代表取締役 河村 和義
	有限会社 I.B.DESIGN 代表取締役 櫻井 俊二
	株式会社 a s c l a i r 代表取締役 細木 実
	北海道芸術デザイン専門学校 学校長 館山 昭
	北海道医薬専門学校 学校長 館山 昭
	学校法人 美専学園 事務長 山崎 嘉久
	北海道芸術デザイン専門学校 就職課長 石川 恭行
	北海道医薬専門学校 就職課長 太田 雅子
会議録 学校法人 美専学園 事務 前田 淳子	
委員長挨拶 館山 昭	
協議内容	
<p>【1】平成29年度 学校関係者評価について</p> <p>※ 北海道芸術デザイン専門学校・北海道医薬専門学校 学校関係者評価シートに基づき自己点検・自己評価総括を分類項目ごと助言をいただく</p>	
<p>1. 教育理念・目的・育人人材像等</p> <p>○ 学校の教育理念・目的・育人人材像は明確になっているか</p> <p>○ 各学科の教育目標・育人人材は業界のニーズに向けて方向づけられているか</p>	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 今、若者のコミュニケーション能力の低さが著しい。人間力を高める教育が重要である。(櫻井)</p> <p>※ 対人関係含め、学生の意識を変える事で人材を育てられるのではないかと。(細木)</p>
<p>2. 学校運営</p> <p>○ 運営組織や意思決定機能は組織的に明確になっているか</p> <p>○ 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>※ ホームページの充実を図っている。ツイッターなど、SNSでの情報発信も行っている。</p>	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 情報公開といえばホームページが一般的な社会となっているが、そういった面では個々の学校の情報も公開されていて良い。(河村)</p> <p>※ こちらのホームページはカリキュラムもわかりやすく結構良い。(細木)</p> <p>※ インターネットを通じて知っていきこうというスタイルが多いので、そういう意味ではホームページは十分な役目を果たしている。(櫻井)</p>
<p>3. 教育活動</p> <p>○ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>○ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか</p> <p>○ 資格取得の指導体制はカリキュラムの中で体系的に位置づけられているか</p> <p>○ 職業教育に対する教職員の意識の向上が図られているか</p>	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 看護の国家試験合格率の高さは素晴らしい。(河村)</p> <p>※ 自分の在籍時よりも取得できる検定が多岐にあり大変良い(細木)</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>
<p>4. 学修成果</p> <p>○ 就職率の向上が図られているか</p> <p>※ 北海道芸術デザイン専門学校 (石川就職課長) 企業の求人公開時期が年々早まってきているが、そのスピード感に学生がついていけない状況も若干見受けられるため、その辺を十分注意しながら指導を行っている。 経済的理由で道外への就職を希望する学生が減っている。</p> <p>※ 北海道医薬専門学校(太田就職課長) 診療放射線学科や看護学科は国試の結果と就職が結びつくため、資格取得が就職率へとつながる。</p> <p>○ 資格取得率向上の指導計画が適切になされているか</p>	<p>※ 新しい人材は求められているが、北海道内となるとキャパが小さい。仕事に就いてから何年で求めている人材へ育つかという側面では、学校で培った能力や仕事への取り組みなどが大きく関係する。(櫻井)</p> <p>※ 建築業界は実務経験がないと資格取得が出来ず、求人難が続いているため、現在受験資格の前倒し実現に向けて働きかけている。学生や若い人に受験資格が与えられると建築業界に入りやすくなるのではないかと。(河村)</p> <p>※ 就職状況はかなり良い。(細木)</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>
<p>5. 学生支援</p> <p>○ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>○ 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>※ 美専学園独自の支援体制を整えている。</p>	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>
<p>6. 教育環境</p> <p>○ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修などについて十分な教育体制を整備しているか</p> <p>○ 防災に対する体制は整備されているか</p>	<p>※ 未来を予測して勉強に取り組めるよう、活躍している卒業生を迎えて外部の話を聞く機会を設けたりすると、学生の学校や勉強に対する意識の向上を図ることが出来るのではないかと。(細木)</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>
<p>7. 学生の受入募集</p> <p>○ 学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>○ 高等学校等に対する情報提供の取組がおこなわれているか</p> <p>※ 広報を主軸に教務と連携を図りながら全道の高校を訪問している。</p>	<p>※ 進学先を決定するときには、進路指導の先生の助言は大きい。夢を描いて入学してもらうためにも、その年代の思い描いているものをキャッチし伝えていく必要がある。(櫻井)</p>
<p>8. 財務</p> <p>○ 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか</p> <p>○ 財務について会計監査が適正に行われているか</p>	<p>※ 課題、助言事項なし</p> <p>※ 課題、助言事項なし</p>
<p>9. 法令の遵守</p> <p>○ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p>	<p>※ 課題、助言事項なし</p>
<p>10. 情報提供・助言等</p> <p>○ まとめとして、1～9項目以外にもご意見をいただきたい</p>	<p>※ 通信教育で資格取得できる世の中で、学校でなければ学べない先生の存在や生徒同士のコミュニケーションが図れることや仕事とはどういうことなのかという所にもう少し力を入れると自ずと結果が現れると思う。(細木)</p>
<p>【2】2019年度 学校関係者評価委員会 開催時期案</p>	
<p>※ 2019年11月予定</p>	